

審 議 会 等 会 議 録

発言者	会議のてん末・概要
-----	-----------

○久喜市総合振興計画審議会委嘱式

1 委嘱書交付

市長から一人ずつ委嘱書を交付
----------------

2 委員及び事務局職員の紹介

委員及び事務局職員の紹介
--------------

○第 1 回久喜市総合振興計画審議会

1 開会

司会 (関口課長)	<p>それでは、ただ今から、第 1 回久喜市総合振興計画審議会を始めたいと存じます。</p> <p>なお、久喜市総合振興計画審議会条例第 7 条第 2 項により、審議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開催できない旨の規定がございます。</p> <p>本日は、20 名中、20 名出席でありますので、本会議が成立していることを、まずご報告させていただきます。</p> <p>それでは、さっそく会議に入らせていただきたいと思います。本日は、初めての会議でございますので、事前に、皆様にいくつか、ご了承をいただきたいことがございます。</p> <p>まず、本市では、審議会等の会議の公開に関する条例に基づきまして、会議は、原則公開としておりますので、本審議会の会議も、公開としたいと存じます。</p> <p>また、本日の会議の記録のため、テープへの録音、写真の撮影につきまして、皆様のご了解をお願いしたいと存じます。</p>
--------------	--

2 市長あいさつ

司会 (関口課長)	それでは続きまして、田中市長より、ごあいさつを申し上げます。
--------------	--------------------------------

田中市長

皆さんこんにちは。久喜市長の田中でございます。

本日、第1回総合振興計画審議会を開催いたしましたところ、皆様方にはご多用の中、ご出席をいただきありがとうございます。

ただいま2か年間の委嘱書を交付させていただきましたが、ご案内のとおり、この総合振興計画につきましては、久喜市が保有しておりますあらゆる計画の最も根幹をなす計画でございますので、どうぞ慎重なご審議、また活発なご議論をいただきますよう、改めてお願い申し上げます。

早いもので、久喜市が合併して7年目に入りました。人口減少時代に入ったということで、どの自治体でも生き残りをかけていろいろな計画を立て、将来に向けて取り組んでいるところです。

私は初代市長に就任して以来、この4地域の一体的なまちづくりに取り組んでまいりましたが、その基礎づくりと申しますか、骨格づくりについてはほぼ完了したものと思っています。問題はこれからでございます。人口減少に入る中、新市にふさわしい事業を実施していかなければならないわけでございます。

具体的な案件を申し上げますと、菖蒲地区におきましては、菖蒲高等学校の跡地が約4haありますが、ここに運動公園を作ることと、現在その事業に取り組んでおります。300mのトラックや家族連れでバーベキュー等ができる施設をあわせ持った公園にしたいと考えております。

また、鷲宮地区につきましては、JR東鷲宮駅の関係でございます。市長に就任して現場を見ましたが、利便性を向上する必要があると考えまして、これはお金が掛かってもやらざるを得ないという認識を得ました。そこでJRと打ち合わせをしてまいりました。いろいろ困難なこともございましたが、東口は既に完成しご利用いただいております。駅西口の周辺には様々な電気系統のものが地下に埋まっています。これを少し動かすだけで1億円とか2億円とか、そういう世界でございます。そのことにつきましても現在調整をしております。間もなく駅の西側につきましても、工事に着手をしたいと考えております。

栗橋地区におきましては、あの東日本大震災の折、液状化という内陸部にあつては非常に珍しい被害が発生しました。そのようなことから、当時だいぶマスコミに関心を持たれまして、相当職員もつらい思いをしたのですが、振り返ればああいったことが報道されたので、国も、これは放っておくと大変なことになるなど、そんなこともあったのだらうと思いました。私は、この液状化の様子を見た時に、これは久喜市だけでは到底対応できないと感じまして、あらゆるところに連絡を取りまして、最終的には当時民主党政権でございましたが、野田内閣総理大臣の官邸まで行くことができました。そこで国の協力をいただきまして、現在工事が始まっています。同規模の地震があつたとしても、二度と液状化が起きないように改修工事をこれから実施していくのでございます。完成までにはまだもう少し時間が掛かるかと思いますが、そんな状況でございますので、どうぞよろしくお

願いを申し上げる次第でございます。

最後に、久喜地区の関係ですが、東京理科大学の跡地活用の問題でございます。東京理科大学は平成5年4月に開校しましたが、昭和60年代の後半、あるいは平成元年当時は、東京23区内に大学を立地することができませんでした。東京一極集中ではなく、周辺に高等教育機関を配置していくのだという、それが当時の政府の大きな目的であったわけでございます。そのようなことから、東京都下、あるいは神奈川・千葉・埼玉に大学が立地をしてきたわけでございます。久喜市としても、高等教育機関の誘致については、当時の市長・議会・市民を挙げて希望をしていたので、私は当時県会議員でしたが、東京理科大学については千葉県流山市と久喜市で競ったわけですが、当時の久喜市としては一般会計予算のおそらく3割から4割程度である予算を確保し、東京理科大学を誘致したわけでございます。

しかし、その後大変な少子化の時代になってまいりまして、受験生が増えない。東京理科大学の希望者が増えない。偏差値が上がらない。いい会社に就職できない。こんな堂々巡りのようなことがあったようでございます。そんな状況の中で、東京理科大学は古い伝統のある大学でございますので、ぜひ都内に戻りたいというお話になってきたわけでございます。

東京理科大学がこちらに来た時には、100年、200年のつもりで、久喜市も多額のお金を提供したものだと思われまいます。現状はそのような状況でございます。だからといって、ああそうですか、分かりましたというわけにはまいりませんので、私も東京理科大学の理事長・学長始め執行部の方々、理事者の方々といろいろ調整をした中で、今回の理科大学の移転については、断腸の思いではありますが、やむを得ないということにさせていただいたわけでございます。

その後、東京理科大学の土地は約13.5haでございますが、あの土地の約4割を無償でいただくことになりました。また、学生の皆さんが勉強した校舎、これも全て無償でいただくことになりました。更に、このまま移転してあと10年もすると、東京理科大学がここにあったということさえ久喜市民は覚えていませんよというお話をさせていただきました。そうしたら理事長が、じゃあどうしたらいいですかというお話があったものですから、高等教育機関の理科大学さんなので、教育のためになるような基金を作ってください、ぜひ残しておいていただきたいとお伝えし、基金の設立にもご協力をいただきました。

ただ、問題はこれからです。この東京理科大学の建物全体を足しますと、この本庁舎の1.8倍あり、とても広い施設です。市民の皆様方にぜひ見ていただきたいということで公開させていただいて、そこでご意見を頂戴しました。そのご意見と、私ども執行の方で考えた案を、既にホームページで公開しております。ぜひこの点が不足しているとか、これは変えたらいいのではないかとということがございましたら、ご意見を頂戴したいと思っております。基本的には東京理科大学、高等教育機関の跡地でございますので、久喜市の次代を担う子ども

	<p>もたちのための施設、教育センターの機能を有するような施設にしたいと考えております。</p> <p>現在教育委員会は、この本庁舎の耐震化工事をした関係もございまして、菖蒲総合支所にございます。それを全て今回のこの跡地に持ってくる予定でおります。また、子どものための施設でございしますが、その施設が現在東側に一つ、それと鷲宮にあるのですが、その施設をこの西側の方にもう一か所設置したいと考えております。また給食につきまして、現在小学校・中学校合わせまして34の小中学校、約1万1,200人が学んでおりますが、この給食調理施設がバラバラです。また相当施設が古くなっておりますので、これらをまとめて今回の跡地で子どもたちの給食を作っていくと考えております。清潔で安心して給食をいただくことができる近代的な設備に変えていくように考えております。</p> <p>我がまち、久喜につきましては、過日の市民まつりもそうですが、いわゆる社会教育が非常に盛んであります。生涯学習が非常に盛んでして、市民大学、あるいは4年制では非常に珍しい高齢者大学等々も充実しているわけでございます。こういった生涯学習を主とする館を1棟、生涯学習センターとしてこれを利用したいと考えておりますので、これらにつきましてもいろいろなご意見をいただけたらと思っております。</p> <p>少し駆け足になりましたが、今日は第1回目ということもございしたので、各地域の問題点・課題を駆け足になりましたがご報告をさせていただきます。最初の話に戻りますが、少子高齢時代を迎えて、どちらの自治体も今生き残りで大変な時代を迎えているわけでございます。精いっぱいその役を担いながらも、ぜひそれぞれのご意見を賜ればと存じておりますので、改めてどうぞよろしくお願い申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。ありがとうございます。</p>
--	---

### 3 会長、副会長の選出について

<p>司会 (関口課長)</p>	<p>続きまして、次第3の会長、副会長の選出に入らせていただきます。</p> <p>本日は、第1回目の会議でございしますので、議長となります会長が選出されておられません。</p> <p>従いまして、会長が決まるまでの間、田中市長に、仮議長に就いていただき、会議を進めていただきたいと思います。存じます。</p> <p>田中市長、よろしく申し上げます。</p>
<p>仮議長 (田中市長)</p>	<p>それでは、会長、副会長が選出されるまでの間、暫時、私が議長を務めさせていただきます。</p> <p>皆様のご協力をお願いいたします。</p> <p>この総合振興計画審議会には、久喜市総合振興計画審議会条例第6条の規定によりまして、会長及び副会長をそれぞれ1人置くことに</p>

	<p>なっております。その選出につきましては、委員の互選によってこれを定めることになっておりますが、皆さんいかがでしょうか。</p>
渡邊委員	<p>会長につきましては、学識経験者として選出をされていらっしゃいます平成国際大学の浅野先生を推薦させていただきます。</p>
仮議長 (田中市長)	<p>只今、渡邊委員さんから、会長を浅野委員さんをお願いしたらどうかというご推薦がございました。ほかに、どなたか、いかがでしょうか。</p> <p><b>【意見なし】</b></p>
仮議長 (田中市長)	<p>それでは、ほかにないようでございますので、会長には浅野委員さんをお願いしたいと思いますと思いますがよろしいでしょうか。</p> <p><b>【拍手】</b></p>
仮議長 (田中市長)	<p>ありがとうございます。 浅野委員さん、お引き受けいただけますでしょうか。</p>
浅野委員	<p>了解しました。</p>
仮議長 (田中市長)	<p>ありがとうございます。それでは、ご本人のご了解をいただきましたので、会長には浅野委員さんと決定させていただきます。ありがとうございました。</p> <p>続いて、副会長の選出でございます。どなたかご推薦、あるいはご意見等がございましたら、ご発言をお願いいたします。</p>
渡邊委員	<p>副会長につきましては、第3号委員、春日部法人会の代表である富田委員を推薦させていただきます。</p>
仮議長 (田中市長)	<p>只今、渡邊委員さんから、副会長を富田委員さんをお願いしたらどうかというご推薦がございました。ほかに、どなたか、いかがでしょうか。</p> <p><b>【意見なし】</b></p>
仮議長 (田中市長)	<p>それでは、ほかにないようでございますので、副会長には富田委員さんをお願いしたいと思いますと思いますがよろしいでしょうか。</p> <p><b>【「異議なし」の声あり】</b></p>

仮議長 (田中市長)	ありがとうございます。 富田委員さん、お引き受けいただけますでしょうか。
富田委員	了解しました。
仮議長 (田中市長)	ありがとうございます。それでは、ご本人のご了解をいただきましたので、副会長は富田委員さんと決定させていただきます。ありがとうございました。 皆様方にご協力を頂き、無事、会長・副会長を選出することができました。ありがとうございました。これを持ちまして、議長の任を解かせていただきます。
司会 (関口課長)	それでは、会長、副会長が決まりましたので、会長、副会長におかれましては、前の席へお移りください。 それでは、ここで浅野会長と富田副会長から一言ずつ就任のご挨拶をお願いいたします。 まず、浅野会長よろしくをお願いいたします。
浅野会長	ただいま選出をいただきました浅野でございます。このような役は不慣れでございますし、力不足だとも思いますが、ご推薦をいただきましたので精いっぱい務めていきたいと思っております。どうぞ、務めが果たせますように、皆様のご協力を心からお願いしたいところでございます。よろしくをお願いいたします。
司会 (関口課長)	ありがとうございました。 それでは、続きまして、富田副会長よろしくをお願いいたします。
富田副会長	ただいまご推薦によりまして、副会長ということで仰せつかりました富田でございます。私もこういった行政に関しては素人でございます。ただ、私も久喜市で生まれ育ちまして54年になりました。やはり久喜市を愛する一市民として、これから将来に向けて久喜市がより良くなることを願っている1人でございます。委員の皆様と共に、有意義な審議会にしていけたらと思っておりますので、浅野会長共々しっかりお手伝いをできればと思っております。皆様のご協力をよろしくをお願いいたします。

#### 4 諮問

司会 (関口課長)	会長、副会長が決まりましたので、ここで、田中市長から、久喜市総合振興計画審議会 浅野会長に、諮問を行いたいと思っております。  【諮問書の手交】
--------------	--

<p>司会 (関口課長)</p>	<p>ありがとうございました。          なお、誠に恐縮でございますが、このあと市長は公務がございますので、ここで退席させていただきます。</p> <p><b>【市長退席】</b></p>
<p>司会 (関口課長)</p>	<p>それでは、ただいまから諮問書の写しを皆様にお配りいたします。</p>

5 - (1) 議題 久喜市総合振興計画審議会について

<p>司会 (関口課長)</p>	<p>それでは、議題に入るわけでございますが、その前に、配布資料の確認をさせていただきます。</p> <p>久喜市総合振興計画審議会次第</p> <p><b>資料 1</b> 久喜市総合振興計画審議会委員名簿</p> <p><b>資料 2</b> 久喜市総合振興計画審議会条例</p> <p><b>資料 3</b> 総合振興計画について</p> <p><b>資料 4</b> 久喜市総合振興計画後期基本計画策定スケジュール</p> <p><b>資料 5</b> 市民意識調査について</p> <p><b>参考資料</b> 久喜市総合振興計画の冊子</p> <p>以上、次第を含めまして、7点でございますが、お手元にご覧いただけますでしょうか。</p> <p>それでは、ここからは、久喜市総合振興計画審議会条例第7条の規定によりまして、浅野会長に議長として、議事を進めていただきたいと思います。浅野会長、どうぞよろしく願いいたします。</p>
<p>議長 (浅野会長)</p>	<p>それでは、暫くの間、議長を務めさせていただきます。</p> <p>円滑に議事が進行いたしますよう、皆様方のご協力をお願いいたします。</p> <p>最初に、会議録の作成についてです。事務局からご説明をお願いします。</p>
<p>事務局 (木村係長)</p>	<p>会議録の作成についてご説明申し上げます。</p> <p>審議会等の公開に関する条例によりまして、審議会等につきましては、会議録を作成し、会議開催後、概ね1ヵ月でホームページ等へ公開することになっております。</p> <p>会議録の作成方法につきましては、発言をそのまま記録する全文方</p>

	<p>式と、挨拶や添付資料を読み上げているに過ぎないような事務局の説明などを省略したり、発言の趣旨を変えずに「てにをは」や「繰り返しの発言」、「複数の委員による同時双方向的な議論で整理しないとわかりにくい発言」を調整して記録する、ほぼ全文記録方式がごさいます。</p> <p>事務局といたしましては、「てにをは」や不要語などを調整しました、ほぼ全文記録方式が適当ではないかと考えております。</p> <p>このことについてご審議を頂きたいと思ひます。</p> <p>また、事務局において、会議録を作成しまして、後日、2名の委員の方に内容の確認と承認の署名を頂きたいと考えております。</p> <p>このため署名をいただく2名の委員につきまして、合わせてご審議をお願いいたします。</p>
<p>議長 (浅野会長)</p>	<p>ただいまの事務局の説明について、何かご質問等ごさいますか。</p>
	<p>【なしの声あり】</p>
<p>議長 (浅野会長)</p>	<p>ないようですので、会議録については、ほぼ全文記録方式といたします。</p> <p>次に、会議録の署名委員については、委員名簿の1号委員から順番に2人ずつお願いしたいと思ひますが、よろしいでしょうか。</p>
	<p>【意義なし】</p>
<p>議長 (浅野会長)</p>	<p>ありがとうございます。それでは、本日の会議録署名委員は、青木委員と枝委員ということでよろしくお願ひいたします。</p> <p>では、次第に戻りまして、議題の「(1)久喜市総合振興計画審議会」について、事務局より説明願ひます。</p>
<p>事務局 (木村係長)</p>	<p><b>資料 2</b> 久喜市総合振興計画審議会条例 説明</p>
<p>議長 (浅野会長)</p>	<p>ただいまのご説明に対しまして、ご質問・ご意見がありましたら伺いたいと思ひます。</p>
<p>岩崎委員</p>	<p>審議会の委員は20人以内。それから、1号委員から4号委員とごさいますして、20人が結果的には1号委員が6人、2号委員が2人、3号委員が11人、4号委員が1人という結果になってごさいます。それぞれの人数については、市長に任されていると思ひますが、公募の人数が6人ですから、非常にいい方向にいるなど、客観的に思っております。やる気のある市民の中から手を挙げていただいて、こういう審議会に積極的に参加をして、まちづくりの基本を作るということは結構だと思ひます。ただ、こうなった経緯、例えば公募が10</p>



<p>事務局 (関口課長)</p> <p>議長 (浅野会長)</p>	<p>人いたのだけれども、いろいろあって6人にしたとか、執行機関というのは5つあるけれども、2つに絞ったとか、公共的団体というのはいくつあるのだけれども11にしたとか、学識経験は1にしたとか、この辺の説明をできる範囲で、特に、私が気にしているのは公募なのですが、選考から漏れた人がいるのか、いないのか、そんなところを聞きたいのですが。よろしくお願いします。</p> <p>まず1号から4号委員の割り振りですが、基本的に前期の計画を作る時の割り振りを参考にさせていただいているところでございます。公募の関係ですが、久喜市の場合、委員の3割以上を公募委員から選出しなければならないという決まりがございますので、そうしますと20人の委員ですので3割で6名以上ということですので、6名で今回公募枠を割り振ったところです。また、実際に応募された方ですが、11名いらっしゃいました。その中から6名の方を選出させていただきました。公募の選出にあたりましては、久喜市の内部組織なのですが、公募選考委員会というのがございます。そちらで公募の時の志望動機ですとか、そういったものを参考にさせていただきまして、選出をさせていただいています。</p> <p>他に何かご意見・ご質問はありますか。ないようでしたら、次に移らせていただきます。</p>
--	---

#### 5 - (2) 議題 総合振興計画について

<p>議長 (浅野会長)</p> <p>事務局 (木村係長)</p> <p>議長 (浅野会長)</p> <p>岩崎委員</p>	<p>それでは、つづきまして、議題の「(2) 総合振興計画について」事務局より説明願います。</p> <p><b>資料3</b> 総合振興計画について</p> <p><b>資料4</b> 策定スケジュールについて 説明</p> <p>皆様方の委嘱は2年間の任期ですが、ただいまお示しいただきましたように、実際には1年間で取りまとめたいということも含めて、今ご説明をいただきました。何かご質問・ご意見がありましたらお願いいたします。</p> <p>それでは1点ご質問をいたします。今回の総合振興計画、基本構想が10年ということで、もう1年で前期が終わり、後期の計画をこれから作ります。先ほどの説明では、基本構想は見直しにならず、あくまでも5年の後期基本計画の策定に入るということのでございました。この23ページの基本構想でかなりのウェイトを占めるのは人口ですね。人口減少時代に入って、平成34年の目標人口が15万9000人となっております。非常に厳しくなっています。4～5年前ですか</p>
---	--

	<p>ら、実際にあった人口をいろいろな方式に基づいて作ったのだらうと思います。結構過大に目標設定するケースが従来型でございましたから、どこの団体でも非常に人口が減って、基本構想から大きく乖離している団体が多い中で、4年たった現在でも、この15万900人に向かっているのかなという気がいたします。平成24年の15万6,315人。現時点の人口が何人で、この15万900人の34年の目標人口に現時点でも数字的にはこのような状況になっていっているのかどうか。見直すような状況にないのかをご質問いたします。</p>
事務局 (関口課長)	<p>岩崎委員のご質問ですが、まず現在の人口ですが、大体15万4,000人です。</p>
岩崎委員	<p>24年が15万6,000人。2,300人の減。</p>
事務局 (関口課長)	<p>目標人口ですが、昨年、人口ビジョンと総合戦略を市の方で策定させていただきました。そちらでは右肩下がりの人口でずっと平成72年までの推計を出しております。この目標人口につきましても、原則、基本構想部分は継承とすることなのですが、人口などは実情に合わせて若干の見直しも必要だと考えております。その辺は見直しの対象になると思います。</p>
岩崎委員	<p>見直しの対象になるということですか？</p>
事務局 (関口課長)	<p>人口ビジョンを昨年策定しましたので、それと整合が取れるような形で修正等をしたいと考えているところです。</p>
議長 (浅野会長)	<p>他にご意見・ご質問はございますか。</p>
竹下委員	<p>基本計画を5年スパンでやるということで、中期ビジョンですので、来年度をもって一度締められるということなのですが、基本的にこの審議会においては、後期基本計画の策定に関して比重を置いてやるというご説明だったと思うのですが、それは同時に前期基本計画の検証をしながら、後期基本計画を組み立てていくという認識でいいのでしょうか。</p>
事務局 (木村係長)	<p>そのような認識で実施していきますので、ご意見等いただければと思います。</p>
議長 (浅野会長)	<p>よろしいでしょうか。他にご意見・ご質問はございますでしょうか。分厚い資料が配られて、今すぐには出てこないと思いますが。よろしいでしょうか。</p>

5 - (3) 議題 市民意識調査について

議長 (浅野会長)	それでは、次の(3)に進ませていただきます。市民意識調査について事務局からご説明をお願いします。
事務局 (木村係長)	<b>資料5</b> 市民意識調査について 説明
議長 (浅野会長)	<p>ただいまの説明について、ご質問・ご意見がありましたらお願いいたします。</p> <p>私からよろしいですか。調査の方法の項目、質問内容ではないのですが、前回前半の計画を作った時にもなさったと思うのですが、それぞれの基本的な違いがあればご説明をいただいて。おそらく今回は18歳以上ですが、前は20歳以上かもしれないか思ったのがいかがでしょうか。</p>
事務局 (木村係長)	<p>対象につきましては、18歳以上という形で前回と同様でございます。ただ、人数なのですが、前は3,000人で実施をさせていただきましたが、今回は5,000人を予定しているところでございます。</p>
平委員	<p>調査の前提として、今、5年の振興計画をやっているわけですが、その中で変わってきたのが、先ほど市長の話にもありましたが、大きくは理科大学が撤収したその跡地の利用とかそういう大きな変化がありますので、そういう変化をしましたよという前提を市民の皆さんが分かるようにした上で調査をされた方がよろしいのではないかと思います。ここに、久喜市総合振興計画の一部改定に伴う新旧対照表とありますが、もちろんこういうことになりますので、そういうことを調査の前提として市民にお知らせしながら調査をするという方法がよいのではないかと思います。</p>
事務局 (木村係長)	<p>状況が変わっているというところで、そちらの方も資料に入れた方がいいのではないかとご質問だったかと思います。今現在なのですが、11月の中旬に発送する中で、今のところはそういった資料の発送は想定していません。発送時期等々を勘案しますと、難しいと考えています。</p>
平委員	<p>難しいことは分かるのですが、ただ本当に理科大の問題が大きく変わりましたのでね。理科大というのはもうなくなったわけです。知らない人はいないのかなと思うのですが、そういう前提での調査だとは思いますが。ではその6割が民間に売って、残りの4割という細かいところ。4割の使用をどのようにするかということまでは詳しく知っているのは、我々生涯学習なんかやっている人間でも100%正</p>

	<p>確には分かりませんので、一般の市民の方というとなかなかそこまでは分からないのではないかと思うのですね。で、市長が言っているように子育て、それから教育委員会、生涯学習センターとか、そういったところの方に使うこととなりますよと。まあなるでしょうと、そういう前提は入れておかないと、理科大っていうのはまだあるのだよなということを思っている方もいるのかもしれませんが。大きく変化したところだけは、調査する前提として示すのが親切ではないかと思えます。</p>
<p>事務局 (関口課長)</p>	<p>ただいまの平委員の貴重なご意見だと思います。私どももその辺は認識しているところですが、特に理科大の跡地につきましては、当然議会でもいろいろご審議いただきましたし、市からもホームページ・広報等々で周知をさせていただいているところでございます。そういったところですので、今回のアンケートとは別に考えているところでございます。今回のアンケートの中にその部分を特筆するとか、状況がこう変わったといったことは現在のところは考えておりません。</p>
<p>岩崎委員</p>	<p>本来は先生の言われるとおり、この段階で設問項目などは皆さんに諮ってやるものですよね。市民意識調査というのはそうやるものなのです。ところが、日程的に11月中旬。10月1日基準日ですから。これはもう戻れませんから、そのカバーする部分として、5地区の懇談会、この辺についてはぜひそういうポイントとなる理科大の問題とか、駅の問題とか、いろいろあるでしょうから、その辺の説明をよろしくお願いします。</p>
<p>事務局 (関口課長)</p>	<p>これは来年の市民懇談会の話になると思いますが、そこで皆さんにご審議をしていただいた計画素案につきまして、その市民懇談会で説明をさせていただきまして、その場でご意見等いただくこととなります。当初の計画を作った時も、その市民懇談会でスライドなどを利用させていただきまして、説明をさせていただいたところですので、当時と同じように皆様の方にご説明をさせていただきたいと考えているところでございます。</p>
<p>枝委員</p>	<p>それに関連しまして、この冊子、資料編の176ページに、前回の市民意識調査の結果が出ていますね。これを見ますと、3,000名を対象にして、有効回収数が1,566名。回収率が52.2%ということで、半分の回答があったということですが、とにかく市民の方々のいろいろな要望・提言を、自治基本条例の中にもありますように、広聴の視点から公正かつ誠実に対応するよう努めなければならないということにもありますように、できるだけ7割を目指して、単なる意識調査を行いましたというのではなくて、もっと懇切丁寧に70%の回収率を目指してやるというぐらいの気概を持ってぜひやっていただきたいと思います。</p>

事務局 (関口課長)	ただいまの枝委員のご意見ですが、半分行けばこういったアンケートはいいのかなというのが気持ちの中ではあるのですが、ただ、今回アンケートを出した後に、提出期限が迫ったあたりで、お礼方々もう一度、催促のはがきを出したいと考えております。どのくらい効果があるかは分かりませんが、回収率の上昇にはつながると思っております。
岩崎委員	そうであれば、調査期間も11月中旬から下旬というのは、日にちが少なくないですか。間にはがきでもう一回出すようですけど、ならば、11月上旬に出して、11月下旬ぐらいの幅がないと相手に失礼だなと思います。昨日郵便が着いたのを見たら、あと1週間しかないというのも失礼な話なので。11月上旬ぐらいに変更できませんか。
事務局 (木村係長)	11月中旬という形でお示しはしておりますが、遅くとも11月中旬までには発送したいと考えております。なるべく回収率を上げたいと事務局としても思っておりますので、調査期間につきましては、土日を2回挟む予定で考えております。
後藤委員	今のことですが、本来この内容は私たちも一読したいと思いましたが、本来ならばこの席にそういう用紙をいただければ、こういう質問状況なのだという形で。無作為で来ると私どものところにはなかなか来ることがないので。もし見せていただければと思ったのですが。
事務局 (関口課長)	まだ細かいところまで詰めていないところがございます。ですので、実際にアンケート調査をする前に委員の皆様にご覧いただき、この状況ですということで、郵送などでお送りしてお示ししたいと思いますのでそちらでよろしいでしょうか。
後藤委員	ありがとうございます。お願いします。
議長 (浅野会長)	他にご意見はございませんか。
後藤委員	この件で年齢層ですか。10代とか20代、60代とか、そういうのを無作為でと。ただ男女だけは半分という形ですか。
事務局 (木村係長)	おっしゃるとおりでございます。男女については半分半分という形で設定をしておりますが、人数の年齢別については無作為ということで、今現在の人口ピラミッドがあると思うのですが、そちらに基づいてほぼ抽出されてくると考えております。
後藤委員	割合を平均化するのでしょうか？

事務局 (関口課長)	無作為で抽出すると、恣意的にしなくても、その人口の幅である程度いい形になると思っています。
議長 (浅野会長)	他にご意見・ご質問はございますか。ないようでしたら、先に進めさせていただきます。

#### 5 - (4) 議題 その他

議長 (浅野会長)	それでは、つづきまして、議題の「(4) その他について」でございますが、委員の皆様から何かございますでしょうか。
中村委員	この会議は公開するということを先ほど冒頭に伺いましたが、私は団体で出ていまして、うちの方は理事会を月1回行っております。その席で公開する前にこのような話をしても良いものか、それをお伺いしたいと思います。
議長 (浅野会長)	議事録の公開以前に、自分の所属の組織等で中身を説明してもいいのかと。
事務局 (関口課長)	その辺につきましては、公開していただいて結構かと思えます。
議長 (浅野会長)	他にございますか。ないようでしたら、事務局から何かございますか。
事務局 (木村係長)	次回の会議の開催でございますが、説明にもありましたとおり、これから市民意識調査を実施いたします。この集計が平成28年12月にはまとまる予定でございますので、それがまとまりしだい、日程を調整いたしまして、改めて、ご連絡させていただきます。29年の1月の中下旬で予定をしております。以上でございます。
議長 (浅野会長)	1月の中下旬で改めて日程を調整するということでございます。本日の会議、全体を通じまして何かご質問等はございますでしょうか。よろしいでしょうか。それでは以上で本日予定した議題は全て終了いたしました。ご協力ありがとうございました。これもちまして議長の任を解かせていただきます。

## 6 閉会

司会 (関口課長)	浅野委員長、議事の進行、ありがとうございました。それでは、以上を持ちまして、第1回久喜市総合振興計画審議会を終了させていただきます。大変お疲れ様でした。ありがとうございました。
<p>会議のてん末・概要に相違ないことを証明するためにここに署名する。</p> <p>平成28年11月11日</p> <p>久喜市総合振興計画審議会委員 枝 重雄</p> <p>久喜市総合振興計画審議会委員 青木 浩美</p>	